

第 216 号 発行日 平成 27 年 1 月 12 日

合格通信

今
月
の
名
言

夜やすむ前、床の上に坐って静かに一日を反省する。やり方はどうあれ、そういう時を持って、一日のケジメをきちんとつけてこそはじめて、そこに安らぎが生まれ、明日への新たな意欲が湧いてくる。

—松下幸之助—

明けましておめでとうございます。冬期講習会も終了し、3学期がスタートしました。すぐに実力テストがあり、その日に来た生徒に聞くと「冬期講習でやった問題が出た」とか「バッチリだった」とかで、うれしい知らせがありました。良い結果が出ることを願っております。私立、公立前期まで1ヶ月を切りました。ラストスパートの時期です。悔いを残さないよう今頑張りましょう。

試験 1 か月前はリ・ファイリングする。

本番へのカウントダウン時期は今までやってきたこと
を見直す時期



本番が近づいてくるとだれでもが焦りを感じるものです。「あれも、これもやってない・・・どうしよう、時間が無い」しかし、完璧に準備して本番に臨むことなど不可能です。なぜなら人間は、やればやっただけ、やっていない部分が見えてくるからです。

そこで焦点を変えましょう！やり残したこと、やりたくないことに目を向け始めたら、不合格のスパイラルの渦にみるみる巻きこまれてしまいます。

そこで、やってきたことに目を向けましょう。何となくうろ覚えの10の知識よりも、しっかりと自家薬籠中のものにした1つの知識の方が、試験本番でははるかに強力な武器となります。本番の1か月前からは新しい参考書や問題集に手を出してはいけません。

今まで自分がやったことを、見直しましょう。今まで受けたテストやプリント、ノートの中からこれは！と思うモノをセレクトして、ブック型のA4のクリアファイルの中にどんどん入れていくのです。1年間のミニマム・エッセンスをつくるのです。使い込んだ問題集をさらに繰り返す、必ず忘れていたことがありますから、もう一度覚える作業を繰り返す。直前はバタバタせず、いままでやったことを「まとめ学習」することが合格を自分の元へぐっと引き寄せることができます。